昭和43年に仏壇職人の世界に飛び込んだ、山添正さんと金原良次さん専用の工房。
同社の高級品は加工のすべてを二人が行う。

桜の花びらが施された装飾となるパーツは小物担当の職人が手がける。

TOP GRAPHIC 05 ［創業50周年を迎える仏壇メーカー］

一般の人向けに工場見学をスタート 若い世代に仏壇の魅力を伝える

森正（もりしょう）

（左から）社長の徳田裕一さん、賀川麻男さん（55歳・都賀町出身）。

創業一九六七年、地場産業の一つである仏壇作りを続けてきた森正。製材から組立に至るまでのすべての工程を北島町に抱える自社工場で行う。「最近は家に帰ったら手を合わせるという習慣が薄れてきています。若い人にとって仏壇がもっと身近な存在になってほしいですね」と話すのは、商品部主任の徳田裕一さん（36歳・徳島市出身）。今年の夏頃、一般の人が参加できる工場見学を始めようという話が社内で持ちあがり、徳田さんのお社員数名は「ものづくりのまち」として製造業の企業が工場見学を実施している新潟県の燕三条や大手ビールメーカーなどの工場見学に参加した。そして製造の流れを間近で見るための動線確保やおもてなしの手法など参考になる点を取り入れ、今年10月より「森正オープンファクトリー」として一般の人も無料で参加できる工場見学を始めた。

スタートは倉庫の一角に新設したフェアトレードのカフェ「オリジンクックリー」から。木目調の床やペンダントライトがカフェを思わせるスタイリッシュな空間で、仏壇完成までのビデオを見るところから始まる。大きな木材を乾燥させ、その木材を切って大きさや厚みを整え、塗装・研磨で部材を仕上げて仏壇を組み立てていく。工場見学は平日の10時30分から、13時から、15時から1日3回で所要時間は1時間半ほどで、3日前までに公式HPの予約フォーム、もしくは電話でも予約できる。

「どんな風に作っているかを見せて仏壇をより深く知っていただけると思います」と話す解説を交える場面に注目して欲しいですね」と徳田さん。同社では20代から30代若い社員が多いのでベテラン職人の技を教える場面にも注目して欲しいですね」と徳田さん。

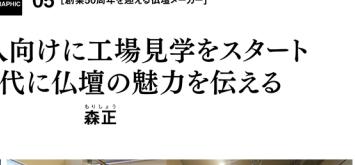
社では20代から30代若い社員が多いのでベテラン職人の技を教える場面にも注目して欲しいですね」と徳田さん。

使う木材を使ったコースターやポストカードがセットになったプレゼントがもらえるのも嬉しい。工場見学は平日の10時30分から、13時から、15時から1日3回で所要時間は1時間半ほど、3日前までに公式HPの予約フォーム、もしくは電話でも予約できる。

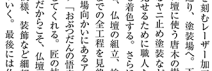
「どんな風に作っているかを見せて仏壇をより深く知っていただけると思います」と話す解説を交える場面にも注目して欲しいですね」と徳田さん。

社では20代から30代若い社員が多いのでベテラン職人の技を教える場面にも注目して欲しいですね」と徳田さん。

オレンジ色の看板を目印にして。



工場見学の出発地点となるファクトリーズカフェ。



北島町北村鎮井3-9
088-698-3003
（見学は3日前までに要予約）
見学時間10:30～12:00、13:00～14:30、15:00～16:30
土日休

駐車場	あり
キッズリクリエ	○
キッズルーム	○
創業	1967年